

教育問題

問 学校給食共同調理場の改修は

答 新年度には検討委員会を設置



田中 榮一 議員

【白馬村学校給食
共同調理場について】

問 食育発信の基地でもあり、児童、生徒の心と身体の成長にとってきわめて重要な施設である調理場の老朽化対策は。

村長 新しい施設を具体的に検討する時期がきたと考えています。将来を見据えた施設として教育委員会や関係者による十分な検討をしていただき、意見、提案をいただければと思っています。

問 「学校給食衛生管理基準」の項目を満たさない箇所

の対応は。

教育長

夏場には30度を超える日も珍しくなく、

調理員の労働環境からも好ましくない状況にあります。汚染作業区域、非汚染作業区域



学校給食共同調理場 9月11日

など部屋単位で区分することになっているができていません。大規模な改修が必要となっています。

問 喫緊の課題である食物アレルギー対策は。

教育長 調理場ではリスクを減らすため細心の注意を払う努力を行っています。調理スペースの設置についても検討をしています。

問 改修に向けて検討委員会の設置は。

教育長 新年度には検討委員会を設置して、村長部局とも連携を取りながら進めてまいります。

【村と大学との
連携について】

問 信州大学山岳科学総合研究所との連携協定から6年経過しましたが、事業評価は。

村長 大雪溪上部の崩落対策や雪崩対策、高山植物の保全活動、新エネルギーの策定など様々な分野で協力をいただけてきました。観光面のみならず地域振興、環境保全といった面からも成果が

あったものと考えています。策定を計画している、「スポーツ推進計画」の中に大学との連携は。

教育長 国の「スポーツ推進計画」に大学との連携について触れられていますので、大学や企業との連携を検討して参ります。

【民生委員について】

問 民生委員の職務はさまざま重要な任務を負っている。

村長 推薦をお願いをしてもなかなか引き受けていただけない場合があることを、数名の区長から伺いましたが、地域住民の福祉向上のため推薦いただくようお願いし、何とか推薦に至りました。委員が担当している地区又は区割りの世帯数や要援護世帯などのばらつきがあることが現状であり、将来的には担当区の区割り変更することも視野に入れなければと考えています。